

みなさんと一緒に 実現しました！



共産党区議団はこの間、区民のみなさんとの懇談やアンケート調査を行い、みなさんから寄せら

保育士さんの処遇改善や カープミラーの増設など

れた切実な区民要求の前進を促すべく、区議団の論戦と住民運動が区政を動かした。今議会で、私立保育所の保育士処遇改善や高齢者の肺炎球菌予防接種の拡充、学校通学路の安全対策として防犯カメラの設置が実現。また、信号機の改善やカープミラーの増設、道路の修繕など区民要求に応え、皆さんと一緒に安全・安心なまちづくりを進めています。私たちが区議団は、暮らしを支える福祉の充実や災害対策など引き継ぎ取り組んでまいります。

「子どもの貧困対策に関する 意見書」が全会一致で可決

日本共産党が提案

子どもの貧困率は過去最悪の16.3%。子ども6人に1人が貧困状態という深刻な実態の抜本的な改善が緊急の課題です。政府は今年8月、貧困対策推進法に基づく「大綱」を決定し、貧困率や生活保護世帯に属する子供の大学進学率などを25項目の指標を設定しました。しかしながら、貧困率改善の数値目標や返済不要の給付型奨学金の導入、ひとり親家庭への児童扶養手当の対称年齢引き上げなどは見送られました。



意見書は、国会で政府に対し、貧困率改善に向けた素案のある対策を積極的に取り組むよう求めるもので、また、日本共産党提出の「外形標準課税の中小企業への適用拡大」や「意見書案」は、区議会自民党委員だけが「適用拡大」を「致し方ない」として意見書案に「反対」として

11/17	請願・陳情締切
11/27	本会議
12/1	企画総務委員会
2	厚生委員会
3	建設委員会
3	区民環境委員会
5	文教委員会
5	消防港湾臨海対策
8	オリビック・パリンピック特別案
9	防災・まちづくり南北交通
10	医療・介護保険対策
15	本会議

学校トイレの洋式化急げ 教師の多忙化解消、 質の高い教育を



そえや良夫議員

一般家庭の洋式トイレの普及率が約9割なのに、対し、学校の洋式トイレの普及は大幅に遅れています。その洋式トイレの間に行列ができ、休み時間にも合わず教室に戻すも、そえや議員は子どもの健康にかかわる重大問題と指摘。洋式トイレの速やかな増設を求めました。また教師の過労死ラインを超える長時間労働を取り上げ、質の高い指導を保障する為にも少人数学級などで教師の多忙化を解消するよう求めました。

赤羽目たみお議員

災害時の障がい者 支援策の充実を



江東区の地域防災計画では、発災時、障がい者は一斉避難所に集まることから、その後、福祉避難所に移動するという計画です。しかし、関係者などから、「多くの障害者は混乱してしまう」という声が上がっています。赤羽目議員は、障がい者が最初に福祉避難所へ避難できるようにすべきと要求。さらに、民間障がい者作業所には、耐震改修助成を行い、福祉避難所として活用できるように求めました。



有明地域に区立公園を 豊洲三丁目公園は 禁煙に



たつきかおり議員

有明地域には現在、区立公園が一つ所もありません。たつき議員は、区議団が行った区民アンケートでも、遊具のある公園を作ってほしいという声が多く寄せられています。また、豊洲三丁目公園での喫煙についても、たつき議員の方から意見が寄せられ、子どもが使う公園は全面禁煙とするよう求めました。

斉藤信行議員

旧コメ倉庫跡地(3万7千㎡)を 購入し福祉施設や公園を



農水省の旧コメ倉庫(塩浜1丁目)は平成22年に廃止され、跡地は関東財務局が10月10日から売却のため一般競争入札にかかろうとしています。斉藤議員は、江東区民の貴重な国有地であり、高層で区が単独で購入できないなら、都と共同で購入するなどとして、不足している特別養老老人ホームや保育園、幼稚園、ケルプホーム、公園などを区民のために活用すべきと求めました。



2013年度 決算委員会での 各議員の 論戦から



社協の「愛の杖」を 廃止するな！ 正保みきお議員



社協福祉協議会(社協)の果たす役割が大きくなって、江東区での「行革」による社協の削減や「愛の杖」配付事業の廃止の検討をめぐり、また、管理職が社協



すがや俊一議員 住宅リフォーム・店舗・ 設備修繕にも助成を



を、含む高崎市も事業者から大歓迎されていることを紹介。住宅リフォーム助成も中小業者の支援として23区内で区が実施中であり、経済効果は平均で18倍に指摘し実施を求めました。区は、「設備の老朽化は認識しており研究が必要」と答弁しました。



高すぎる保険料は 引き下げを きくち幸江議員



国民健康保険の保険料は、毎年の値上げで収入に対する負担が大きくなっています。きくち議員は高負担の医師にかかることを控える状況も顕著になっている。調査も示し、保険料の引き下げと医師にかかるたときの窓口負担の減免を通院に拡大するよう制度の拡充を求めました。また区民負担を減らすには、「減らされてきた国庫負担の復元を強く求め」と迫りました。



—2013年度江東区決算—

くらし削って基金へためこみ 区政史上最高 886 億円

江東区の25年度決算は、41億円の大幅黒字で、基金には新たに7億5千万円余を積み増し、基金総額は、決算時点で過去最高の886億円を超す状況となりました。

区は25年度予算編成で、生活を守り、まちの活力を感じる、区民応援予算」と言いながら、これまで無料だった胃がん、肺がん、大腸がん検診の有料化、放置自転車取手料や粗大ごみ処理手数料の値上げ、国民健康保険料の引き上げなど区民への負担増を行うとともに、生活保護の健全育成費や中学卒業生自立援助金の廃止や中小企業融資

の利子補助率の削減を実施し、また、25年度は、保育園や学校給食、学校用業務の民間委託を新たに実施し、区民が、安上がり労働者を一層拡大しました。区民要求実現に全力を

日本共産党区議団は、区民の暮らしが大変な中で、負担増や切り捨てを行う一方で、41億円もお金を余らせて、基金の更なる積み増しを行うなど、区民応援予算」とは言い、入院見舞金や重度介護手当の支給、仕事起しのための住宅リフォームや店舗改修助成、就業援助の充実、特別養護老人ホームや保育園の増設など、区民の切実な要求を実施することが出来たのではないかとたたきました。

また、日本経済を建て直すためにも、働く人たちの賃金をしっかりと引き上げていくことが必要だと指摘。民間委託のこれ以上の拡大の中止を、既に委託している施設の労働者の処遇について調査するよう求めました。

豊洲新病院問題
昭和大学江東豊洲病院の
改善、クリニックの再開を
わな付けはなりません。区議団が実施したアンケートでも「区民の税をばらばらにおかすのでは」との声を寄せられています。

共産党区議団は、江東区民に「高層で区民負担を減らすには、「減らされてきた国庫負担の復元を強く求め」と迫りました。